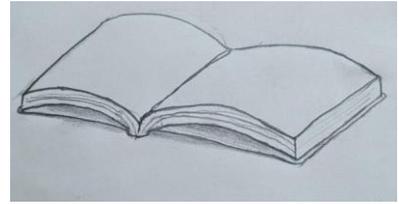


# 図書館の常連さんに聞いてみました!!

## 金商図書館のここがおすすめ!!

- ・ 文化的コミュニケーションが取れる。
- ・ 学年、クラス、問わずいろんな人と交流をすることができる。
- ・ 本に囲まれた、落ち着く空間。
- ・ 図書館のイメージが変わる!!
- ・ 観光に役立つ本がいっぱいある。
- ・ おすすめの本を教えてもらえる。
- ・ 進路について知ることができる。
- ・ のんびりできる。
- ・ テストや検定の勉強が学習室でできる。
- ・ マンガが読める。ボードゲームができる。



河村(株)様より下記の資料を寄贈いただきました。

『北國新聞縮刷版 DVD』

令和6年2月号

\*社長をはじめ社員の皆様の多くが本校卒業生の会社です。

## 金商図書館のこの本がおすすめ!!

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見夏衛

戦争とは何か、考えさせられる物語。  
主人公が、70年前の戦時中の日本で、特攻隊員のある男性と出会うことで、人生が変わり始める。涙なしでは読めない、全員に読んでもらいたいおすすめの一冊です。

『あの星が降る丘で、君とまた会いたい。』

汐見夏衛

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』の続編。転校生の涼は、大人びた百合にだんだん惹かれている。時代を超えても、思う恋。こんな恋愛してみたいと感じるとっても素敵なお話。

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』

相沢沙呼

推理作家の香月史郎と霊媒の城塚翡翠の2人が力を合わせて事件に立ち向かうおはなし。最後に待ち受ける驚きの展開に、何が本当で、何が嘘なのか分からず、もう1回読み直したくなります。

『汝、星のごとく』 凧良ゆう

単なる恋愛小説だと思って読み始めたが、全然違った。恋とは何か。愛とは何か。人生とは何か。何を取舍選択するのか。そんな人生の複雑さが、交わってすごく考えさせられる本。

『わるい食べもの』 千早茜

世間では「いい食べもの」とされる食べものがあります。反対に「わるい食べもの」もあります。そんな「わるい食べもの」に関するエッセイです。おそらくみなさんが想像している内容とは異なります。

『北陸とらいあんぐる』 ちさこ

石川県出身の漫画家が描いた北陸についての漫画です。あるあると思うこともあれば、人によっては地元の知らなかったことも出てきたりします。